

「その先の未来で活躍するために」



伊奈学園同窓会会長
原 雅之 [1期4A・芸術(美術)]

一〇〇年に一度と言われる大不況の中、皆さんは近い将来、社会へ羽ばたいて行くことになります。終身雇用の崩壊、雇用形態の変化など私達を取り巻く環境は、日に日に厳しさを増しています。

では、そのような状況で活躍するためにはどうすればよいのか? 知識や技能を高め、磨きをかけることはとても重要ですが、それだけでは不十分です。最終的には、魅力的な人間性を備えているかが鍵となります。

魅力的な人間とは、常に明るく、正々堂々とし、何事にもポジティブで、行動力があり、できない言い訳をしない人ではないでしょうか。これは部活動や勉強、仕事や遊びの場でも、共通して言えることです。

伊奈学園で過ごす時間には限りがありますが、その絆は同窓会を通して途絶えることなく続きます。さらに新たな交流が生まれるのが同窓会です。今年も皆さんの道標となる先輩たちを紹介します。

原 雅之 [1期4A・芸術(美術)]

昭和60年春の会長。H.R.会長は4Aでした

思い出写真館

皆さんは卒業と同時に伊奈学園同窓会の会員になります。同窓会では年次、学系、H.R.、部活動における仲間同士の交友を支援しています。さらに、それらの枠にとらわれない母校の仲間としての交流活動の充実を目指しています。

伊奈学園同窓会では、みんなに配布した会報誌「Inajin」を制作しています。この春号のほかに年一回、会員の方々のお手元に送付しています。各界で活躍されているO.B.O.Gの情報、母校・伊奈学園のトピックス、同窓会の活動内容などの情報をお届けします。同窓会では、「この会報誌を、卒業生と母校をつなぐ」と「ヨニケーションツールとして充実させてまいります。ご期待ください。

また、誌面に登場いただける方も随時募集しています。自薦他薦は問いません。同窓会へお問い合わせください。

同窓会員の選出や活動方針などを決めるため、毎年一回の総会のほか、理事会2回を開催しています。卒業時に選ばれたH.R.理事(各H.R.若干名)の方は、同窓会と会員のみなさんとの結ぶ大切な役割の担い手となりますので、総会理事会に出席してください。

同窓会役員の選出や活動方針などを決めるため、毎年一回の総会のほか、理事会2回を開催されています。卒業時に選ばれたH.R.理事(各H.R.若干名)の方は、同窓会と会員のみなさんとの結ぶ大切な役割の担い手となりますので、総会理事会に出席してください。

昨年10月に第2回ホームカミングパーティーを開催しました。4~6期の同窓生を対象に、50名以上の方が参加し、盛大な集まりとなりました。在学時お世話をなった先生方も参加され、約20年前の学生気分に戻ったようなどひと時を過ごしました。

今後もこのような全体イベントを毎年開催しますが、卒業から時間が経つと一部会員の消息が分からなくなったり、招待状が届けられないケースが多く見られます。引っ越しをした際には、少額ですが同窓会が運営経費の一部を援助します。

年次理事の皆さんには、今後の同窓会の活性化を図っていただきたいと思います。興味のある方はぜひ公式HPの年次理事募集のページよりご連絡ください。

同窓会役員の選出や活動方針などを決めるため、毎年一回の総会のほか、理事会2回を開催されています。卒業時に選ばれたH.R.理事(各H.R.若干名)の方は、同窓会と会員のみなさんとの結ぶ大切な役割の担い手となりますので、総会理事会に出席してください。

昨年10月に第2回ホームカミングパーティーを開催しました。4~6期の同窓生を対象に、50名以上方が参加し、盛大な集まりとなりました。在学時お世話をなった先生方も参加され、約20年前の学生気分に戻ったようなどひと時を過ごしました。

今後もこののような全体イベントを毎年開催しますが、卒業から時間が経つと一部会員の消息が分からなくなったり、招待状が届けられないケースが多く見られます。引っ越しをした際には、少額ですが同窓会が運営経費の一部を援助します。

年次理事の皆さんには、今後の同窓会の活性化を図っていただきたいと思います。興味のある方はぜひ公式HPの年次理事募集のページよりご連絡ください。

お問い合わせ
Mail ina-doso@inagakuen.on.arena.ne.jp
Web <http://www.inagakuen.on.arena.ne.jp/>

発行／伊奈学園同窓会 編集／会報誌編集委員会

お問い合わせ
Mail ina-doso@inagakuen.on.arena.ne.jp
Web <http://www.inagakuen.on.arena.ne.jp/>

発行／伊奈学園同窓会 編集／会報誌編集委員会

Inajin
vol.29

STAFF

Editor inChief : 大道加奈子(7期4A・美術)
Editor / Writer : 石田陽子(2期1G・理数／エディトリアルチーム風見鶲)
Writer : 岡村好恵(2期6E・人文)
Art Director / Title logotype design : 町田えり子(7期5C・美術)
Designer : 山田大介(9期11・人文・旧姓・田代)
Photographer of Cover : 小島英行(7期2C・人文)

©Inagakuen Dousoukai 2010 掲載されている記事・写真等一切の権利は伊奈学園同窓会または原著作者に帰属します

INAGAKU STYLE

時に形を変える夢もある

小室 雅成さん 1988年度卒業 ロードレーサー



伊奈学園で過ごす時間には限りがありますが、その絆は同窓会を通して途絶えることなく続きます。さらに新たな交流が生まれるのが同窓会です。今年も皆さんの道標となる先輩たちを紹介します。

伊奈学園で過ごす時間には限りがありますが、その絆は同窓会を通して途絶えることなく続きます。さらに新たな交流が生まれるのが同窓会です。今年も皆さんの道標となる先輩たちを紹介します。

05 同窓会がサポートします

各H.R.および部活動等で、懐かしい仲間と再会するイベントをする際、同窓会では連絡を取りたいメンバーへの代行連絡や、公式HPでの告知を行いますので、ぜひ活用してください。

詳細についてはイベント幹事さんまでお問い合わせください。

17期5Fのクラス会、公式HPの「イベント情報」で告知しました。

同窓会では伊奈学園O.B.-O.Gが世代を超えて「交流できる場」を目指しています。他校と比べて歴史の浅い伊奈学園同窓会は、まだまだ未完成です。組織となる可能性があるともいえます。伊奈学園に学んだ仲間として、柔軟で個性的な発想を活かし「新しいスタイルの同窓会」を一緒に作っていきますが、私たち役員も10数年前には、みなさんと同じ制服を着て同じ教室で3年間を過ごしました。

同窓会では各種活動に参加してくれる会員の方を待っています。みなさんの若い力で、同窓会に新しい風を吹き込んでください。伊奈学園同窓会は開かれた組織です。

同窓会では伊奈学園O.B.-O.Gが世代を超えて「交流できる場」を目指しています。他校と比べて歴史の浅い伊奈学園同窓会は、まだまだ未完成です。組織となる可能性があるともいえます。伊奈学園に学んだ仲間として、柔軟で個性的な発想を活かし「新しいスタイルの同窓会」を一緒に作っていきますが、私たち役員も10数年前には、みなさんと同じ制服を着て同じ教室で3年間を過ごしました。

同窓会では各種活動に参加してくれる会員の方を待っています。みなさんの若い力で、同窓会に新しい風を吹き込んでください。伊奈学園同窓会は開かれた組織です。



第2代校長・鈴木勲二先生、第3代校長・西本憲弘先生(後方中央)も参加くださいました。



きくちあいこ

16期生・情報経営系／弓道部。在学中は公認会計士への道を考えていたが、進学時に目標を転向。当時、唯一のドルフィントレーナー養成コースがあった東京コミュニケーションアート専門学校へ進学。

飼育管理にとどまらない オールマイティが求められる

ひとりでも多くの人々に魚たちのことを知つてほしい

横浜・八景島シーパラダイスのアクアミュージアムに勤める菊地さんは、一日は、各設備の点検から始まる。生物の健康チェックや水槽の温度測定、餌の準備から清掃まで。日々の業務のほかにも、私たち来館者の目につかない仕事は多い。

持ち前のガッツで今の職に就いて6年。魚たちと直接ふれあえる水槽「サカナリーフ」で魚たちとのふれあい方をレクチャーするのも菊地さんの仕事。海の生きものを解説しながら、子供だけでなく大人の心をも引き込んでいく。研修で担当してから、はじめて魚類に興味を持つた菊地さんだけに、未知の豆知識を披露するというツボ心得ている。

自分が「大好きな魚たちの魅力を



東京湾の磯を再現した「サカナリーフ」は水の中に入って生きものとふれあえる

イワシ5万尾のショーは飼育員の努力の結晶



042J1110

はとりいたつろう

21期生・語学(英語)／高校時代は野球部一筋。1年間の浪人生で身に付けた勉強法で見事、第一志望である立教大学に合格するも、熟慮の末「レベルの高いところで」野球を続けるため早稲田大学文化構想学部に入学。学業と野球を両立し多忙な日々を送る。

卒業後は多分一般企業に就職するのですが、教員になり野球部の監督もやってみたみたい。答えはまだ出せません。

あえて選んだ 大学野球最高峰での挑戦

羽鳥 達郎さん 2006年度卒業



オフには伊奈学園のグラウンドを訪れる

NEXT STAGE
伊奈人便り

あえて選んだ
大学野球最高峰での挑戦

はとりいたつろう

21期生・語学(英語)／高校時代は野球部一筋。1年間の浪人生で身に付けた勉強法で見事、第一志望である立教大学に合格するも、熟慮の末「レベルの高いところで」野球を続けるため早稲田大学文化構想学部に入学。学業と野球を両立し多忙な日々を送る。

野球部の練習は平日は3時間、土日はまる一日で月曜がオフです。入った頃は辛かったです。練習がキツイのは覚悟していましたが、部の決まりや雑用も多く、先輩から厳しい指導を受けることもあります。浪人時代もそうでした。集中力が持続しないことに悩んでいた僕は、自分で追いつむ時期と抜く時期を決めたり、課題と日課を設けて気分転換を図りながら受験勉強に取り組むようにしました。予備校でたくさんできた友人とは今でも飲みに行ったりしています。

文化構想学部は3年前に創設されたもので、学問領域や地域などの枠にとらわれず、現代にふさわしい新しい文化の構築を目指します。2年次から6つの「論系」に分かれるのですが、英語に関われる「多元論系」を選択しました。

歴史が与える厳しさに
へコンだ入部時期

野球部の練習は平日は3時間、土日はまる一日で月曜がオフです。入った頃は辛かったです。練習がキツイのは覚悟していましたが、部の決まりや雑用も多く、先輩から厳しい指導を受けることもあります。浪人時代もそうでした。集中力が持続しないことに悩んでいた僕は、自分で追いつむ時期と抜く時期を決めたり、課題と日課を設けて気分転換を図りながら受験勉強に取り組むようにしました。予備校でたくさんの友人とは今でも飲みに行ったりしています。

文化構想学部は3年前に創設されたもので、学問領域や地域などの枠にとらわれず、現代にふさわしい新しい文化の構築を目指します。2年次から6つの「論系」に分かれるのですが、英語に関われる「多元論系」を選択しました。

魚類飼育員

菊地 愛子さん
2001年度卒業

WORKING STYLE FILE

おしごと探訪

お仕事DATA

就活 卒業時に実地研修の働き振りで、実習先から声をかけてもらう。研修は必須でなく、独自に交渉。

実際 新展示の企画や季節イベント、その設営まで仕事は多岐にわたる。接客業の一面も必要となる。

心得 実務のノウハウは施設により異なるので実践は就職後に。英会話ができると役立つことも。



32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り

「すべては内に」という哲学のもと
体調が回復しはじめる

32歳

27歳

独立のために貯めた

自転車レースに専念し
再デビューを果たす

開院資金を元に

むつう整体に出会い講師に弟子入り